

校長室だより

フリー参観 たくさんのご参加、ありがとうございました

1月下旬からとっても寒い日が続いています。ご家庭でも引き続き健康管理、「早寝・早起き・朝ごはん」や手洗い・うがい等、規則正しい生活のご指導をお願いいたします。

1月29日（水）は今年度最後の参観日が行われました。フリー参観なので、2時間目から5時間目の学習や生活の様子を見ていただきました。マラソン大会や図工展・書写展も同日開催でしたので、たくさんの方に参観していただき、楠っ子たちは、とてもうれしそうでした。ありがとうございました。



マラソン大会

1月29日（水）、全学年のマラソン大会が開催されました。冬らしい小雪の舞う日でしたが、全学年が取り組みました。1～3年生は校庭を、4～6年生は寺が池公園を走りました。3学期になって早期から体育の時間や長休みの「走ろうタイム」の取り組みで、力と自信をつけた楠っ子たちは、元気いっぱい最後まで頑張りました。マラソン大会に対し、当初はネガティブな言葉が多かった子ども、取り組む中で、次第に「完走めざします」「去年よりがんばる」と考えが変わってくる子が増えてきました。私も「走ろうタイム」で一緒に走りました。目標に向かって努力している子がとても多いことに驚きました。元気の源は、「やる気」にあるようです。「やる気」は自己肯定感を高めることにもつながります。転んでも、思い通りいかなくても、最後までゴールをめざして頑張る姿に感動しました。子どもたちの成長を感じた場面でした。

保護者の皆さん、地域の皆さん、最後まで温かく応援し見守っていただき、ありがとうございました。



「鬼は外 福は内」節分のお話

節分とは本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節日を指し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に、1年に4回あったものでした。日本では立春は1年のはじまりとして、とくに尊ばれたため、次第に節分といえば春の節分のみを指すようになっていったようです。室町時代以降は豆をまいて悪鬼を追い出す行事へと発展し、民間にも定着していったようです。立春に鬼払いをして悪いものを捨て、心と体をきれいにして、新春（正月）の神様を迎え、新しい年の準備をします。その鬼を払うために行うのが節分の豆まきになって今に伝わったようです。

「太巻きのお寿司を丸かぶり」の恵方巻は、スーパーやお店の広告でも目にします。今年の節分は2月2日、恵方は西南西です。

日本には、昔から伝わる文化がたくさんあります。その地域特有の文化もあります。ご家庭でも伝統文化を楽しんでください。